

## 令和6年8月期月次景況調査結果

この調査結果は、地区・業種を代表する県内組合の役職員の方から、毎月、業界の景気動向等に関する情報を収集・分析し、行政・関係機関に情報提供しています。

8月期は、製造業や建設業等の一部の業種において景況感は改善したものの、異常な猛暑や台風接近の影響により売上が減少した業種が多く、また、原材料・エネルギー価格の高騰や人件費の上昇により収益の悪化が続いていることから、全体の景況DI値はやや悪化した。

慢性化している人手不足は一段と厳しくなっていることや、原材料費等のさらなる上昇や物価高に伴う消費者の買い控えなど、今後の事業経営に不安があるとの報告が多く寄せられている。

### 山口県の主要指標DI値（令和6年8月末現在）

※DI値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況	（＜好転＞－＜悪化＞＝＜DI値＞）
	前年同月比は、好転：6.3% 悪化：31.3% DI値：▲25.0% ポイント
売上高	（＜増加＞－＜減少＞＝＜DI値＞）
	前年同月比は、増加：21.3% 減少：31.3% DI値：▲10.0% ポイント
収益状況	（＜好転＞－＜悪化＞＝＜DI値＞）
	前年同月比は、好転：7.5% 悪化：33.8% DI値：▲26.3% ポイント

### 山口県の業種別DI値（業界の景況）（令和6年8月末現在）

				
30以上	30未満～ 10以上	10未満～ ▲10以上	▲10未満～ ▲30以上	▲30未満

食料品	繊維業	木材・木製品	印刷	窯業・土石製品	一般機器	輸送機器	全製造業
▲50.0	0.0	▲100.0	▲50.0	▲50.0	0.0	▲33.3	▲34.4
							

卸売業	小売業	商店街	サービス業	建設業	運輸業	その他	全非製造業
▲60.0	▲42.9	▲33.3	18.2	▲27.3	14.3	▲100.0	▲18.8
							

全体
▲25.0


## 特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	昔から夏場には醤油・味噌とも消費量が減少する傾向にあるが、最近の高齢者やひとり住まいの方は、みそ汁等もフリーズドライを利用すると聞いている。暑さの影響もあり、売上も伸びず、原材料の価格も下がらず、大変厳しい状況である。	調味料製造業
	人の動きが活発になり公共交通機関の売店の売上は好調であるが、猛暑の影響で来店客が減少し、店舗の売上に影響している。台風による物理的な被害はなかったが、店舗の臨時休業や交通機関の運休を受けて売上に大きな影響が出ている。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	台風による休校等で学校給食の売上が減少した。	パン・菓子製造業 下関市
	長期にわたり水揚げの減少が続いており、回復の見込みが立たない。人手不足が一段と厳しくなってきた。	水産食料品製造業 長門市
	コロナが5類移行となり催事等が行われるようになって、関連した商品を取り扱っている企業は、少しずつコロナ前に戻ってきているようだが、円安の影響により取り扱う商品に変化が出てきている。夏休みとお盆休みで旅行等の人の動きもあつたが、旅行客が購入するものと組合員が扱うものが違うこともあり、売上にはそれ程反映されていないが、7月よりは売上が伸びた模様。	水産食料品製造業 下関市
	仕入用の野菜が減少し、価格が高騰。野菜市場の出荷量も減少し、お客が減っている。お盆に行われた夏祭りは、コロナ明けの昨年よりも更に人出がありとても賑わったが、今までになく売上が落ち込んでいる。仕入単価の値上げや梱包材料の値上げが続き、上げ幅が1割を超えているものも少なくない。思い切って商品の値上げも検討せざるを得ない状況に来ているのかもしれない。	食料品製造業

	<p>8月の売上については、全国的に慢性的な米不足となり、農協の概算金が大幅に上昇するなど、売上高の増加が見込める状況となったが、今までの肥料、農薬、燃料代などの上昇分を吸収できるくらいであるため、利益率については変更が無い。例年に比べ異常な高温日が長く、屋外作業については危険な状態が続き支障が出てきており、早急な対策が必要となる。地球温暖化対策については、目に見えて進めているような政策がほとんどなく、水素ステーションの構築、燃料電池の積極的な導入など、水素循環型社会の実現に向けた政策の加速化が強く求められている。また、日本の発電量に占める化石燃料の利用率約70%という数値も国際社会的にみても異常に高いので、早急に自然エネルギーの利用と原子力発電の利用を70%にさせるなどの改善が必要である。ロシアがウクライナに侵攻して2年以上が経過したが、ウクライナにとって、状況悪化の情報が伝わるなど、中東情勢の悪化に伴う世界情勢が混沌として、原油、天然ガス等の資源不足が懸念されている。国際的な原油価格が上昇し、それに伴って、肥料価格が前年比160%アップという驚異的な結果となっている。政府の、原油価格の上昇に伴う損失補填も限界にきているようだが、特にガソリン価格の対策費の継続と食料安全保障対策を早急に図るなどの措置が必要となってくる。おって、北朝鮮、中国などの情勢を注視しながら、迅速に対応することが必要となる。山口県は、輸出に向けたコミュニティを設立するなど、県をあげて輸出への対応を推進しているので、それに向けた対応も必要となる。</p>	精穀・製粉業
繊維工業	<p>売上、販売価格、収益が微増。忙閑の差が少なくなり、安定してきている。</p>	外衣・シャツ製造業
	<p>お盆休みや台風の影響で休業が多く、実働日数が減少した。台風による被害はほとんどなかった。</p>	帆布製品製造業
木材・木製品	<p>組合員も取引先も台風被害はなかった。</p>	製材業・木製品製造業 岩国市
	<p>組合員の平均売上額は、令和5年8月と比べ10%の減少。住宅需要の低迷等により製材品の売上減少が続き、それに伴い、設備操業度の低下も続いている状況。</p>	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	<p>7月末からの受注減により売上は減少。加えてお盆休み等で稼働率も下がり、受注も減少した。</p>	印刷業 山口市
	<p>各地で猛暑日の連続記録や最高気温の更新も相次いでいるが、株式市場の動きもブラックマンデーを超える株価暴落から一転、元の水準へと戻りつつあるなど、波乱万丈の展開をみせている。印刷業界は例年、夏場の受注は落ち込むが、本年度は特に減少幅が著しい感がある。ペーパーレスの流れは確実に進行しており、それにとって代わる分野への進出や新しい付加価値</p>	印刷業 下関市

	<p>の創造、経営効率化、スリム化等、業界内における今後の課題はまだ多い。例えば営業においても従来の営業手法は通用せず、顧客ニーズを捉えたタイムリーかつ適切な提案等、マーケティング営業が今後の主流となりつつある。</p>	
窯業・土石製品	<p>令和7年4月より、1トン当たり2,100円程度のセメント価格の値上が各メーカーから発表された。異形鉄筋の値上げについても耳にするようになり、運賃値上げも続いている。現在、今年の4月からの値上げの説明に苦慮している段階であり、価格が反映されていない状況で、来年4月の値上げを考えるとという違和感が続いている。公共工事に大きく携わっている当組合では、調査機関での設計価格の設定期間が6ヶ月から2ヶ月程度まで短縮され、早々に価格アップが反映される形にならないと、先行き不安な状況が続くと感じている。</p>	<p>コンクリート製品製造業 柳井市</p>
	<p>令和6年1月に値上げを実施し、9月よりの経済調査会の単価に反映された。建設物価はまだ上昇しない。</p>	<p>コンクリート製品製造業 防府市</p>
	<p>出荷量は、前月比108%、前年同月比125%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。生コン販売価格は安定している。</p>	<p>生コンクリート製造業</p>
	<p>お客様から酷暑での作業を心配していただくが、涼しくなるのを待ってられないので、無理をしない程度で仕事をしている。</p>	<p>石工品製造業</p>
	<p>夏休み期間の来店客は多く、特にお盆が多いが、陶器に興味がなく、お土産目的の来店が多いため、単価が非常に低く売上が上がらない。在庫は減少するが、収益の好転とはならない。現在は、9月からのイベントに向けて在庫を増やしている。</p>	<p>陶磁器・同関連 製品製造業</p>
一般機器	<p>8月も閑散期であるが、組合員皆仕事がなく困っている状況にはなく、9月から始まるコンビナート関連による繁忙期に備え、準備工事などを主に、全体的にはゆっくり準備している模様。</p>	<p>一般機械器具製造業 下松市</p>
	<p>仕事量はあるが、得意先の受注のずれにより急ぎの受注や消耗品等の発注が少ない。この先の見通しは悪くないため売上が落ちることはないが、依然として人手不足は解決せず外国人労働者に頼ることになると思われる。業況については売上高は増加したが、9月以降の設備案件受注による材料費・加工費の先行する費用が発生し、一時的に資金繰りが悪化している。設備稼働も上昇しているが、人員不足による定番品の納期遅れ等、生産バランスが崩れる状況もあり課題となっている。</p>	<p>一般機械器具製造業 防府市</p>

	<p>各業種とも当面の事業量を確保しており順調であるが、依然として人材の確保に苦慮している。特に介護、建設、食品加工については切迫している。中小企業にとって大企業と同じような賃上げをすることは至難の業であり、正規、非正規を問わず日本人材を確保することは困難を極めている。販売価格の適正化、下請け企業への適正価格での発注指導が必要。外国人材確保の面でも、低賃金、円安の影響は大きく、特にベトナムでは高賃金の韓国への希望が高い。また、簡易な手続きで行ける台湾の人気も高くなっている。世界各国との人材確保競争は厳しくなっており、引き続き日本が選ばれる国であることは厳しいと考えられる。賃金対応のみならず早急に多文化共生社会づくりへの対応による生活環境、文化環境、教育環境等の日本の魅力づくりが求められる。当面、受け入れ国の多様化で人材確保をすることで対応せざるを得ないが、ミャンマー、バングラディッシュ等の送り出し国においては政情不安があり、あまり期待できない。今後は多数の人口を抱えるインドネシア、インドからの受け入れが多くなることが想定されるが、現状の賃金環境が継続するといずれは行き詰ることが想定される。また、国内での競合も激しく、特にベトナムでは都会の高賃金に対抗できず、地方の企業で募集しても人が集まりにくく苦慮しているのが実情である。また、特定技能制度の下、高賃金を求めて転籍も多い状況が継続している。</p>	一般機械器具製造業 宇部市
	<p>売上・収益ともに伸び悩みが続き、現状維持で精一杯な状況が続いている。</p>	
	<p>前月同様であり特に変化はない。現在、外国人技能実習生2名が座学中である。</p>	一般機械器具製造業 下関市
輸送機器	<p>鉄道車両関係の受注量は2024年度後期以降減少となる見通し。2026年度から台湾新幹線の受注見込みがあるものの確定までは至っていない。人件費や原材料費・電気料等の高騰により、収益悪化が続くものと思われる。半導体製造装置の部品製造業において、当初の予測よりも大幅に受注量が減少し低位で推移しているが、2025年度前半に復調の見通しが多少ずれ込む可能性がある。</p>	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	<p>売上は安定しており、年度予想をやや上回っている。今月からネット通信を始め、業務の効率化を図るとともに、業者との情報の共有化に向け一歩前進した。台風により8/30は臨時休業とした。</p>	乾物卸売業
	<p>漁港の水揚げ、売上ともにほぼ前年並みとなったが、収益は各種価格高騰のため悪化している。</p>	生鮮・魚介卸売業

	多少収益が好転した事業所もある反面、依然として悪化している事業所も少なくない。対策を講じたいが、人件費を抑えることくらいしか思いつかない模様である。	各種商品卸売業 防府市
	猛暑により飲料系の売上が増加した。	各種商品卸売業 山口市
	建築業界全体的に不況である。	各種商品卸売業 下関市
小売業	化粧品専門店の売上状況は前年に比べて微増。猛暑で日焼けによる肌ダメージ回復のための化粧水や乳液の使用量が増加したことが要因と思われる。昨今は単なる化粧品専門店としてだけでは存続が難しい時代だが、店主の魅力を軸としたお客様に寄り添うことで地域に愛されるお店がある。特にエステに特化したお店がその一つであり、その施術中に化粧の必要性や使用法などを提供する。エステがメインの店舗、化粧品の種類が多い店舗、どちらも化粧品の楽しさや綺麗をお客様に提供し、満足してもらうのに変わりはない。	化粧品小売業
	インターネットや通販による購入が増加しているのか不明ではあるが、売上が減少している。	機械器具小売業
	8月の売上状況は前年同月比約5%減少であるが、入込み客数は3%減に留まった。前年より店舗数が減少し販売品目が減少しているため売上減は免れないが、概ね天候に恵まれ来客数も順調である中、悪天候の影響で生鮮商品が十分に確保できず、売上機会を逃す場面も多かった。雇用環境は引き続き厳しく、慢性的な人手不足に直面している。併せて円安や原材料価格の高騰が続いており、夏場の空調に係る電気代をはじめコスト負担が増加している。	各種商品小売業 萩市
	8月の供給高は前年比97.7%、来店者数95.2%。先月に続き、来店者数、供給高共に前年を大きく割っている。地震の備えとお盆休みで、スーパーにお米がなくなり、問い合わせが増加している。今回の台風時には休業をしなかったところ、台風の前で売上が増加する結果となった。休みになった事業所においては、売上は減少したが、従業員の安全確保と経費削減に繋がったと思われる。	各種商品小売業 下関市
商店街	尋常ではない猛暑により、身の安全を守るために不要不急の外出を抑制する政府対応が出るなど、激しい気候変動が景気を停滞させている。円安、物流コスト高騰、物資値上げなども重なり、小売り商業には厳しい夏となった。台風、地震などに煽られた米騒動も令和の象徴的な事かもしれない。	岩国市
	TOKUYAMA deck オープン後、2階は店舗がほとんど埋まっていなかったが、10月にオープン予定の情報があり、来客が遠のいていた現状を奪回できればよいと思う。毎年行われてい	周南市

	た「こどもっちゃ商店街」は、今年は見送る状況になる。	
	青果業に関しては異常気象と台風の影響で、野菜・果物の入荷が極端に減少しており、価格も上昇している。給食等が始まり、商品を集めるのに苦労している。	山口市
	猛暑が続き、人出が減少。涼しくなり消費行動が上向くのか、先行きが不安である。	宇部市
	8月は台風等の影響で休業する日があり、売上げ減となった。気候が経済活動を止めてしまう事は、今後考えていかなければならない問題であることを再認識した。	萩市
	消費者の買い控えが続いており、売上は伸びていない。7月末に開催したポイントまつりの商品券を使って買い物をされるが、ほとんどが食料品である。「この猛暑で電気代等が高騰し、生きていく上で食費を削る訳にはいかず、他の買い物までできない」と買い物客は話す。	下関市
サービス業	尋常ではない暑さのため、ゆっくりした営業になる思われたが、地域に根付いた店舗では、例年通り忙しい日が多い模様。8月はイベントが多く週末に来店が集中するが、トータルでの売上は減少していない。	美容業
	暑さが厳しくなり来店サイクルが早くなったが、物価が高騰しており、原材料費等の値上げもあり今後が心配である。	理容業
	山口県7月の新車新規登録台数は、登録車3,327台で対前年同月比1.5%増、軽自動車は2,371台で対前年同月比9.5%増と全体で5.5%プラスとなった。全国においても3.9%プラスとなった。自動車製作者の不正事案に伴う生産停止が解除され生産が開始されたことが影響したと推測されるが今後一層の回復を期待するところである。「OBD検査」の開始が残り1ヶ月となり、これに対する準備も進んでおり、対象検査機器購入補助金（国交省が実施）の申請が7月30日から開始され約1ヶ月経過したが、予算消化率は約30%と全国で対応が本格化している状況にある。現在一部対象機器が品薄の兆候が見られるとの情報もあるが、検査開始に影響することのないよう動向を注視したい。	自動車整備業
	8月は子供向けに夏休み特別教室や体験会を行っているが、参加者数に前年と大きな変化はない。求人は給与面を改善したが苦戦している。台風の影響は、休業の組合員がほとんどであったが、対象日のレッスンを振り替える等の対応で、売上の影響は最小であった。	スポーツ・健康教授業
	8月の売上も前年と変わらない事業所が多い模様。猛暑が続き、クリーニング工場はボイラーを使うためとても暑く、クーラーなどの暑熱対策が必須の為、光熱費や電気代の高騰もあり利益を圧迫している。	普通洗濯業

	台風により外出を控える人が多く、来客に影響した。	飲食業
	売上 107.7%、宿泊者数 104%と前年同月比を上回る結果となった。インバウンド宿泊者数でも、前年同月比 136.8%と大きな伸びを示した。内、欧米客はほぼ前年並み。4月からのインバウンド累計は 120.3%、国内客は 102.5%であるので、インバウンドの伸び率が大きい状況である。	旅館業 山口市
	厳しい暑さの影響で入浴客数は横這い。施設の一部で空調機の故障、老朽化により環境不良となった。エアークリーン等の要請も業者多忙により月内は対応できなかった。お客様対応に不備を生じて入浴者数に影響した。売上高にも影響して減少となった。	旅館業 長門市
	夏休み期間ではあったが、例年以上に家族旅行者が多かった。コロナ感染症によるキャンセルも増加している。	旅館業 下関市
建設業	中電への工事申請 66 件(当支部 51 件)、前年同月 131 件(同 105 件)。太陽光発電への申請 13 件(前年 32 件)、オール電化申請 32 件(前年 38 件)。LED 街路灯への切り替え・新設申請 1 件(前年 8 件)であった。	電気工事業
	現在抱える技能者に合った仕事量はあるが、令和 7 年春までの工事量は減少すると思われる。国土交通省が、建設業専門工事業者の中で特に技能者の減少の多い左官工事業者と枠型工事業者に対して安全衛生経費の加算を呼び掛けている。	左官工事業
	官公需落札が順調で安定しており、組合員皆忙しくしている。	管工事業
	ここ数年、夏の暑さが異常となり、屋外作業が主体の瓦業界は対応に苦慮している。作業効率以前に、事故が無いように現場が進むよう心得ている。早く気温が平常に戻ることを願うばかりである。	屋根工事業
	手持ち工事量が減少しており、工場稼働率が低下している。新築案件より改修工事が増え、見積依頼も少ない状況。今後の案件情報が乏しく年末にかけての新規受注状況を不安視している。	鉄骨・鉄筋工事業
	政府の来年度の会計は、大幅な税収の伸びが予想されるという。大企業の景気が良いというが、地方においては、その感覚は程遠い。公共事業は積極的に発注されているようだが、当組合員の受注は少ない。入札金額は、積算ソフトの普及で、同額での抽選が続いている。一般競争入札で、組合員でなくとも、同等の資格で入札が可能であることから、組合の加入メリットが問われてもいる。行政との意見交換なども積極的に実施して、組合としての存在意義を高める努力が一層必要と感じている。	一般土木工事業 柳井市

	8月の受注高は、対前年同月比214.9%。今年度の累計では対前年比160.7%。8,000万円超の工事と1,500～3,500万円クラスの工事が多数あった。	一般土木工事業 萩市
	8月までの公共工事発注高は例年の8割弱であり、上半期の早期発注を望む。	一般土木工事業 長門市
運輸業	状況が好転しない状態が続いている。8月は盆休みや台風による臨時休業等休日が多く、売上や収益に与える影響大であった。	一般貨物自動車運送業 下松市
	荷物運送量・倉庫保管量共に増加。小ロットから大型輸送案件まで、依頼内容が多様化している。引き続き物価高騰に関する値上げ交渉を継続しているが、概ね了承いただいている。人員は安定している。	一般貨物自動車運送業 宇部市
	タクシーチケットの取扱い金額（税込み）は、前年比+6.5%（令和6年7月1日～令和6年8月20日分 今期26,771千円 前期25,144千円）だった。7月1日～末日分は+11.8%（今期18,121千円 前期16,205千円）。8月1日～8月20日分は、▲3.2%（今期8,650千円 前期8,939千円）。コロナ禍で行動制限されていた時期よりは回復しているが、コロナ禍以前までは回復していない。タクシー料金単価も令和5年8月から10%値上げ改定されているが、諸費用の値上がり、給与収入も企業収入も追いつかないため、需要が増加しない状況と思われる。当組合の取扱いタクシー事業者は、周南市、光市、下松市、防府市の地域。7月分については、周南+12.2%、下松+6.9%、光+12.7%、防府市地区が+4.8%で、組合員の全域では+11.4%、地区外（員外）+15.1、合計+11.8%（+1,916千円）だった。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）や為替によって変動する。燃料単価は、8月分は前月と同額になったが、前年よりも+17円/ℓ。マスコミでも話題になっているが、タクシー乗務員は労働条件が厳しい（賃金が少ない）事もあって、慢性的危機的に不足している。実働車両が大幅に減少している。「乗務員さえ確保できたら、もっと売上が増やせるのだが、」という意見も聞くが、日曜や月曜日は大幅に少ない稼働台数でも充分で、配車室人件費がもったいない位だそうである。8月になって、運賃改正の効果がなくなり、需要がますます減少して来ているように思う。郵便料金の値上げや最低賃金の引上げ等、大不況に陥らないかと心配している。	一般乗用旅客 自動車運送業
	8月の取引高は季節的要因により若干の減少。依然として人手不足の上、猛暑や感染症に注意が必要である等、厳しい状況が続いている。	港湾運送業

<p>その他</p>	<p>介護事業所では人材不足が慢性化しており、人件費は高騰している。介護報酬だけでは厳しい経営状況が続いている事業所が多い。特に、社会福祉法人や医療法人以外の民間企業は厳しい経営が続いている。外国人技能実習生についても、田舎より都会を希望する者が多く、今後、外国人技能実習生は職場を変わることができる新しい制度となるため、山口県の企業で受け入れ申請をしても、入国後にある程度の期間働いた後に都市部に行くことが増加するのではないかとの懸念もある。</p>	<p>介護事業</p>
------------	--	-------------